

9月7日・8日 九州ブロック「保護司のための SST 研修」

会 場 アークホテルロイヤル福岡天神

講 師 皿田 洋子氏 (SST 普及協会認定講師)

長浜 美智子氏 (SST 普及協会認定講師)

小松 洋平氏

参加者 31名 (福岡9名・佐賀3名・長崎3名・熊本3名・大分4名・宮崎3名・
鹿児島3名・那覇3名)

【第1日目 午後1時から5時まで】

まずは、皿田講師による SST についての講義です。SST は、対象者が生活の中で希望し必要とする「ものの考え方」と「行動のとり方」の学習を本人とともに進めていく支援の方法です。保護観察官にも毎年 SST の研修が行われています。

できる体験の積み重ねが SST であり、この研修では SST の基礎である基本訓練モデル、問題解決技能訓練をしっかりと学んでいきます。他の人とのコミュニケーションが難しい発達障害にある人にも SST は有効であり、その人のできるところを見つけ、それが活かされるように支援することが大切との話がありました。



長浜講師と小松講師による個人 SST 「こんな時に SST をするといいですよ」という場面
①友だちの誘いを断る ②遅刻してくる対象者への対応 ③本人の家族関係をコインで表す
コインマップ などのデモンストレーションによる学習の後、2～3人が一組になり、
コインマップを実際に体験しました。

最後に翌日取り組む演習の課題についてアンケートを記入して1日目は終了です。

【第 2 日目 午前 9 時から午後 4 時まで】

前日に参加者からアンケートで集めた SST が活かせるような面接場面を実際に練習しました。



左 問題解決法「約束の時間に来ない対象者への声かけ」の練習 右 Bグループ（長浜講師）



Aグループ（小松講師）

Cグループ（皿田講師）

最後に全員で集まり、振り返りをしました。

熱心に受講された参加者全員に、初級認定修了書が授与されました。

以下が、参加者からの感想です。

「ほめることの重要性がわかった」

「最初は戸惑ったが、道筋がわかってくると楽しく取り組めた」

「早速面接に活用していきたい。（SSTは）いいものですので、一緒に広めていきましょう」

「相手の立場に気づきが生まれる。些細なことの一つが前進の一步となることを強く感じた。できることから始めようとの声かけを大事にしたい」

「対象者との面接は、自己体験や個人的な思いで接していたが、SSTの理論、実践を体験して学び、大変参考になった」

「社会を明るくする運動の一環として国にSSTを取り組んでいただければ有り難い」

ご参加くださった皆さん、ありがとうございました。